

文京区外
の方も OK!

《2019 年度》音楽劇ワークショップ “ぶんきょう演劇塾” 舞台手話通訳者 募集

文京シビックホールが主催する演劇ワークショップ“ぶんきょう演劇塾”の卒業公演で、「舞台手話通訳」に挑戦いただける方を募集します。

「舞台手話通訳」とは通常の手話通訳とは異なり、演出家の指導のもと、通訳者も1人の出演者として舞台上に立ち、時にはともに演じながら、台詞や情景を観客に伝える手法です。

応募資格は、手話通訳の経験の有する、15歳以上（中学生を除く）の方。区外の方でもOKです！

演出家と舞台手話通訳家の指導のもと、演劇塾メンバーとともに、公演（2月2日）を創り上げていきませんか？

※本事業は、一般財団法人地域創造 助成事業です。

<募集概要>

- 募集人数 4名
- 応募資格 手話通訳経験を有する、15歳以上（中学生を除く）の方
- 応募条件 以下の講座と稽古（※）、ゲネプロ、本番公演に参加できる方
※ぶんきょう演劇塾の稽古は毎週火曜・木曜の18:30～21:15です。
 - ◆8月～11月上旬の演劇塾稽古自由見学（3回程度）
 - ◆舞台手話通訳基礎講座（4日）
10月19日（土）午前、10月20日（日）午前・午後
11月2日（土）午前・午後、11月3日（日）午前
 - ◆11月中旬～1月30日（木）の期間の約10回程度の稽古
※仕上がり状況により、回数が増える場合があります。
※祝日及び年末年始の休み有り
- ◆ゲネプロ 2020年2月1日（土）9時～20時
- ◆本番公演 2020年2月2日（日）9時～19時
<13時、16時開演の2回公演>
※講師オリジナル作品を予定



2018年度演劇塾公演より

【“ぶんきょう演劇塾”プロフィール】

文京シビックホール主催の演劇ワークショップ。2017年より金田誠一郎氏（俳優・演出家・脚本家）が講師を務める。毎年、約15名ほどのメンバーを公募し、6月中旬より8ヶ月の稽古を重ね、2月に文京シビックホール小ホールにて卒業公演を行っている。過去2回の公演とも、講師オリジナル作品を舞台手話通訳付きで上演し、そのユニークな演出方法は、多くの観客から好評を得た。

■講座・稽古会場 文京シビックセンター内施設
〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21
東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園」駅【直結】
都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」駅【直結】

■参加費 20,000円
※別途、行事保険料実費（1,000円程度）をお支払いいただきます。

■応募締切 7月2日（火）必着

<講師> 金田誠一郎 / ぶんきょう演劇塾講師、俳優・演出家・作家・振付師
米内山陽子 / 劇作家・演出家・舞台手話通訳家
河合祐三子 / ろう俳優、多数の演劇公演に出演
三澤かがり / 2017-18年度 ぶんきょう演劇塾公演 舞台手話通訳担当、文京区登録手話通訳者

<舞台手話通訳指導・監修協力> 特定非営利法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク（TA-net）

身体使って汗かいて、楽しく表現して、
自分も観客のみんなも幸せになる舞台。
みんなで一緒に、そんな舞台、創りましょう！



ぶんきょう演劇塾講師
金田誠一郎

お
問
合
せ

公益財団法人文京アカデミー ホール事業係

TEL: 03-5803-1103 (平日9:00～17:00)

主催：文京シビックホール（公益財団法人文京アカデミー）

<https://www.b-academy.jp/>



応募方法

申込書に必要事項を記入し、封筒に、通常はがき（62円）と92円切手各1枚を同封の上、下記申込先へ郵送または持参にてご応募ください。

簡単な面談の後、参加者を決定します。

※持参の場合、受付時間は平日9:00～17:00となります。

※応募書類は返却いたしません。

申込先

〒112-0003

東京都文京区春日1-16-21 文京シビックセンター 2階

文京シビックホール ホール事業係「ぶんきょう演劇塾」担当

面談日

10分程度の面談を行います。

7月27日（土） 午前9時～12時

※面談の詳細は後日郵送で通知します。（基本的に、時間の指定はできません。）

応募締切 7月2日（火）必着

<講師プロフィール>



◆金田誠一郎

2017年より、“ぶんきょう演劇塾”講師。オンシアター自由劇場付属養成所卒業後、ニューヨークヘダンスの勉強のため渡米。演劇・ミュージカルの指導や脚本のほか、俳優として、映画・TVにも出演。



◆米内山陽子

劇作家・演出家・舞台手話通訳家。舞台、映画、TVアニメなど多くの脚本を手がけ、自らの演劇ユニット「チタキヨ」では、作・演出を担当。舞台手話通訳の第一人者として、数多くの舞台の指導を行っている。



◆河合祐三子

札幌市の劇団「舞夢」を経、1988年に社会福祉法人トット基金「日本ろう者劇団」に入団、手話による台詞劇などの演目に出演し、2016年退団。現在フリーの俳優として舞台、公演、ワークショップなど全国的に活動を広げている。



◆三澤かがり

2017-18年度“ぶんきょう演劇塾”の公演にて、舞台手話通訳を担当。手話通訳士。文京区登録手話通訳者。

<舞台手話通訳指導・監修 協力団体プロフィール>

◆特定非営利法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク（TA-net）

聴覚障害を持つ当事者が中心となって、「みんなで一緒に舞台を楽しもう！」を合言葉に、障害があっても気軽に劇場に足を運べる社会作りを目指し、様々な活動を行っている。2018年度には日本財団の助成を受け、今後ニーズが高まるであろう「舞台手話通訳者」の育成講座を横浜・札幌・大阪で実現。2019年度はさらに、仙台・北九州・豊橋で実施の予定。過去2回のぶんきょう演劇塾公演では、舞台手話通訳の監修・指導を担当。今年はさらに、この「舞台手話通訳者養成講座」を文京シビックホールとともに実施する。

お問合せ

公益財団法人文京アカデミー ホール事業係
TEL:03-5803-1103（平日9:00～17:00）

ホームページ : <https://www.b-academy.jp/>